

別紙1 地域医療連携推進法人滋賀高島 令和3年度事業計画書

地域医療連携推進業務

項目	現状・これまでの取組	取組の効果	取組項目	取組内容	担当部会	令和元年度		令和2年度		取組年度(計画)																															
						計画	実績	計画	実績	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)																											
病床機能分担	病床数(平成30年4月1日現在) マキノ病院 120床(急性期60床、慢性期60床) 今津病院 80床(回復期40床、慢性期40床) 高島市民病院 210床(急性期164床、回復期42床、感染症4床) 合計 410床(急性期228床、回復期82床、慢性期100床) 【参考】滋賀県医療構想2025需要推計 390床(急性期132床、回復期146床、慢性期112床)	・各医療機関が機能分担を行うことにより、競合を避け、それぞれが合理的な病院経営を行うことができる。それぞれ経費削減が可能になり、地域全体で重複投資等がなくなる。	地域の患者の動向分析、病床機能の分担	地域の患者の動向を分析し、病床機能の適正化を検討する体制を構築する。	代表者会	検討	検討	検討	検討	検討	⇒	⇒	⇒	⇒																											
在宅医療	○在宅療養支援診療所 8診療所 今津地域：あいりんクリニック、けいこビュアクリニック、新旭地域：本多医院、まつだ内科歯科クリニック 安曇川地域：小泉クリニック 高島地域：小篠医院、やまにしクリニック 朽木地域：朽木診療所 ○在宅療養支援病院 今津病院(機能強化型)、マキノ病院 ○在宅診療後方支援病院 高島市民病院	・現在の担い手である開業医の高齢化・後継者不足となるなか、マンパワーの不足を他の医療機関がカバーする体制が取れる。	在宅医療に関する人材の確保	在宅医療の担い手である医師の人材確保を図り、派遣等の方法を検討する。	医師部会	検討	検討	検討	検討	検討	⇒	⇒	⇒	⇒																											
			在宅療養患者リストの作成	短期入院、短期入所利用者を中心に、在宅療養患者リストの作成	地域連携部会	参加法人内での作成	抽出方法の決定 参加法人内での仮抽出	市内関係機関との情報交換	市内関係機関との情報交換	市内関係機関との情報交換	情報共有とリストの作成	運用	⇒	⇒	⇒																										
			他圏域との医療・介護連携体制の整備と強化	他圏域での急性期治療終了者の早期受入と在宅復帰に向けた支援と継続した在宅療養が復元する体制づくり	地域連携部会	現状の把握	現状の把握	関係機関との定期意見交換	関係機関との定期意見交換	関係機関との定期意見交換	関係機関との定期意見交換	体制づくりと住民への周知	⇒	⇒	⇒	⇒																									
予防医療	平成28年度受診率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>受診率(%)</th> <th>対象者</th> <th>参考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診</td> <td>34.4</td> <td>40歳～74歳(国保)</td> <td>滋賀県38.2 全国 36.6</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>5.1</td> <td>40歳以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>15</td> <td>40歳以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>22.4</td> <td>20歳以上の女性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>19.1</td> <td>40歳以上の女性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>1.9</td> <td>40歳以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	受診率(%)	対象者	参考	特定健診	34.4	40歳～74歳(国保)	滋賀県38.2 全国 36.6	胃がん	5.1	40歳以上		大腸がん	15	40歳以上		子宮頸がん	22.4	20歳以上の女性		乳がん	19.1	40歳以上の女性		肺がん	1.9	40歳以上		・健診、がん検診等の受診啓発、案内を各病院が協力して行うことにより受診率の向上が図れる。	健診の拡充	健診体制の受診率向上を目指し、健診体制を整備する。	事務部会	体制の検討	体制の検討	行政等関係機関との調整	行政等関係機関との調整	⇒	⇒	⇒	⇒
	区分	受診率(%)	対象者	参考																																					
特定健診	34.4	40歳～74歳(国保)	滋賀県38.2 全国 36.6																																						
胃がん	5.1	40歳以上																																							
大腸がん	15	40歳以上																																							
子宮頸がん	22.4	20歳以上の女性																																							
乳がん	19.1	40歳以上の女性																																							
肺がん	1.9	40歳以上																																							
平成29年度活動実績 看護師長、認定看護師による公開講座、出前講座の実施 など	公開講座、出前講座の実施	看護師長、認定看護師による出前講座を行い、疾病の予防推進を図る。	看護部会	実施	実施	実施	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																													
職員派遣・人材育成・共同研修	各病院診療科(診数)	・医師等が不足する病院について他病院が医師等の派遣を行うことにより、市内全域で不足する医療分野を補い合うことが可能になる。	マキノ病院	内科(2診)、外科・肛門外科、整形外科(2診)、小児科、皮膚科、神経内科、泌尿器科、総合診療科	医師派遣の検討	医師が不足する診療科について他病院が医師の派遣を検討する。	医師部会	医師派遣の検討・実施	医師派遣の検討・実施	医師派遣の検討・実施	⇒	⇒	⇒	⇒																											
	今津病院		内科、整形外科、皮膚科、呼吸器内科、腎臓内科、泌尿器科、消化器内科、脳神経内科、循環器内科、透析(3部)、放射線科	薬剤師派遣の検討	薬剤師が不足する病院に他病院が薬剤師の派遣を検討する。	薬局部会			薬剤師派遣の検討・実施	薬剤師派遣の検討・実施	⇒	⇒	⇒	⇒																											
	高島市民病院	総合診療科、内科(5診)、循環器(2診)、泌尿器科、整形外科(2診)、外科、脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、小児科(2診)、精神科神経科(2診)、歯科・口腔外科(2診)、産婦人科(2診)、透析(2部)	・職員研修会の共同開催により、研修効果の向上、受講機会の拡大、経費の削減および業務量の軽減が図れる。	災害時の対応、看護師の役割を考える	看護部会	課題の抽出 研究会開催 課題の対応	課題の抽出 研究会開催 課題の対応	関連機関の役割把握、連携の検討	関連機関の役割把握、連携の検討	関連機関の役割把握、連携の検討	⇒	⇒	⇒	⇒																											
				新人看護師の育成	看護部会	課題の抽出 研究会開催 課題の対応	課題の抽出 研究会開催 課題の対応	課題の抽出 研究会開催 課題の対応と評価	課題の抽出 研究会開催 課題の対応と評価	課題の抽出 研究会開催 課題の対応と評価	⇒	⇒	⇒	⇒																											
				看護補助者の育成	看護部会	課題の抽出 研究会開催 課題の対応	課題の抽出 研究会開催 課題の対応	課題の抽出 研究会開催 課題の対応と評価	課題の抽出 研究会開催 課題の対応と評価	課題の抽出 研究会開催 課題の対応と評価	⇒	⇒	⇒	⇒																											
				情報共有会議の実施(定期的)(感染対策、医療安全等)	看護部会	情報の共有	情報の共有	情報の共有	情報の共有	情報の共有	⇒	⇒	⇒	⇒																											
				栄養指導の情報共有	医療技術部会	情報の共有	情報の共有	情報の共有	情報の共有	情報の共有	⇒	⇒	⇒	⇒																											
				臨床工学技士の情報共有	医療技術部会	情報の共有	情報の共有	情報の共有	情報の共有	情報の共有	⇒	⇒	⇒	⇒																											
				各医療機関の機能および状況の把握、研究会の実施	リハビリ部会	研究会内容の検討・準備、研究会の開催	「それぞれの病院の機能と現実のギャップをリハ職に伝え、自分が所属している病院はどうあるべきか」を考える ⇒全リハ職に実施する ⇒結果をもとに、テレビ会議システムで研修を行い、各病院でグループワークを行う。 →「適切なリハビリを受け、スムーズに在宅生活に戻っていくには、各病院に何が必要か?どのように連携をとればよいか?」各病院から提案	研究会の実施 ・人事交流の提案	人事交流の提案 ・訪問リハの人員不足を補い合える体制づくり、どの事業所からでも訪問できないか。 ・人事交流は他員の機能を理解する目的で1週間程度の見学から計画。各所属で受け入れ体制を検討	研究会の実施 ・人事交流の検討	⇒	⇒	⇒	⇒																											
				感染防御の対応実技研修会	医師部会 看護部会				研修会の実施 令和2年6月25日	実施	⇒	⇒	⇒	⇒																											
臨床検査の情報共有	医療技術部会				新型コロナウイルス検査情報交換会 令和2年10月16日	実施	⇒	⇒	⇒	⇒																															
医療スタッフの接遇マニュアル	看護部会				DVD購入し各施設でビデオ学習	実施	⇒	⇒	⇒	⇒																															
看護研究研修会	看護部会				研究発表研修会の実施(滋賀県看護協会第7地区支部との共催) 令和3年3月5日	実施	⇒	⇒	⇒	⇒																															
ハラズメントに係る職員研修会	事務部会				研修会の実施 令和2年11月18日 テレビ会議システム	実施	⇒	⇒	⇒	⇒																															

別紙1 地域医療連携推進法人滋賀高島 令和3年度事業計画書

地域医療連携推進業務

項目	現状・これまでの取組				取組の効果	取組項目	取組内容	担当部会	令和元年度		令和2年度		取組年度（計画）									
									計画	実績	計画	実績	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)					
医療機器の共同利用	平成29年度使用件数				・各病院の重複投資を抑制でき経費削減が図れる。	放射線機器等の共同利用	CT、MRIの共同利用を実施し、配置の適正化と緊急時にも対応できる体制を整備する	医療技術部会	検査	検査	実施	実施	実施	⇒	⇒	⇒	⇒					
	CT	マキノ病院	今津病院	高島市民病院					10月から実施	10月から実施												
	MRI	2,040	1,244	7,315																		
	血管造影	573	H30.10購入	2,694																		
		(機器なし)	(機器なし)	316																		
医薬品・診療材料の共同購入	平成29年度薬品費（円）および医薬品採用数				・各医療機関で個別に行ってきた医薬品の価格交渉を共同で行うことにより、スケールメリットを生かした経費削減が図れる。	医薬品の共同交渉・購入	スケールメリットを生かしたコスト削減、経営の効率化を目指す。	薬局部会	契約形態の標準化、購入医薬品の選別、交渉に向けた準備	契約形態の標準化、購入医薬品の選別、交渉に向けた準備	共同交渉		共同交渉	⇒	⇒	共同購入の検討	共同購入の検討					
	薬品費（円）	マキノ病院	今津病院	高島市民病院																		
	薬品採用数	83,570,065	60,913,000	486,779,493																		
	診療材料費	739	約600	2,526																		
	診療材料数	49,243,062	80,863,000	369,100,333																		
		431	約2,500	約1,000																		
				(単価契約のみ)																		
委託業務の共同交渉	平成29年度委託業務契約額（円）				・医事、給食、清掃、警備、施設管理等の委託業務について共同で価格交渉を行うことにより、スケールメリットを生かした経費削減が図れる。	医事委託業務の共同交渉	医事委託業務を共同交渉することにより、人員配置の融通性の向上、経費の削減を図る	事務部会（医事係会）	現状の分析と課題の抽出	現状の分析と課題の抽出	課題解決に向け検討・協議		課題解決に向け検討・協議	⇒	⇒	⇒	⇒					
	医事	マキノ病院	今津病院	高島市民病院																		
	給食	25,542,000	8,839,800	46,137,600																		
	清掃	11,822,496	(一部)2,649,240	35,460,000																		
	警備	(一部)213,840	(一部)220,320	21,600,000																		
				(警備・駐車場・電話交換)																		

別紙1 地域医療連携推進法人滋賀高島 令和3年度事業計画書

地域医療連携推進業務

項目	現状・これまでの取組			取組の効果	取組項目	取組内容	担当部会	令和元年度		令和2年度		取組年度(計画)					
	マキノ病院	今津病院	高島市民病院					計画	実績	計画	実績	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	
連携業務の効率化	電子カルテの導入状況(関連システムを除く)			<ul style="list-style-type: none"> 患者IDの共通化、電子カルテの統一等を見据えたシステム使用、メーカーの統一化が図ることにより、連携業務がより効率的に行うことができる。 患者情報の共有が容易になり診療効率がアップする。 各病院を利用する患者様の利便性が図れる。 	患者IDの共通化(診察券の一本化)	患者IDの共通化(診察券の一本化)すること、患者負担の軽減と利便性の向上、ならびに効率的な連携業務を行う。	事務部会(医療情報係)	現状の分析と課題の抽出	現状の分析と課題の抽出	課題解決に向け検討・協議		課題解決に向け検討・協議	患者IDの共通化の実施	⇒	⇒	⇒	
	メーカー	なし	NEC(クラウド型)		富士通(サーバー型)	医療情報システムの統一化	電子カルテシステムを統一化し、診療情報を共有することで、診療効率のアップを図る。	事務部会(医療情報係)	電子カルテシステムの更新	電子カルテシステムの更新	マキノ病院、本多医院のシステム導入時期を考慮し連携を検討		⇒	⇒	⇒	⇒	
	導入年度	-	平成24年		平成23年	テレビ会議システムの導入	テレビ会議システムを導入し、WEB会議の実施、研修の同時中継等を実施し、業務の効率化と研修受講機会の向上	事務部会(テレビ会議係)	4月検討 デモの実施 10月運用開始	4月検討 デモの実施 10月運用開始	運用	運用	運用	⇒	⇒	⇒	⇒
	導入経費	-	25,480,300円		299,999,700円	びわ湖あさがおネットの活用	びわ湖あさがおネットの活用に関する実態調査 利用環境の改善に関する意見交換 利用状況についての報告会 利用環境・法人間での利用状況の改善について確認 次年度に向けた課題検討	リハビリ部会	アンケートの準備、研修会内容の検討・準備、実態調査	・びわ湖あさがおネットの利用環境の確認 ・個々に利用状況のアンケート実施 ⇒医師会事務局が行われた結果を参照	びわ湖あさがおネットの利用率の改善	びわ湖あさがおネットの利用率の改善	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	保守料金	-	9,822,000円		29,519,632円	地域完結型医療の構築	急性期患者および家人へのアンケート調査、アンケート結果に基づく各機関での問題解決の働きかけ	リハビリ部会	アンケートの準備、実態調査	・各病院の現状報告 ・地域連携バスの運用実態の確認 ⇒高島市民病院地域連携室からの報告 ⇒各病院内のバスの流れを確認 ・各訪問リハビリの現状と、一体化について(各訪問リハビリから、リハ職参加) ・アンケートに関しては、患者・ご家族に実施するのではなく、リハ職に対して実施する形に変更	有効的なクリニカルバスの運用 人事交流の提案	有効的なクリニカルバスの運用	⇒	⇒	⇒	⇒	
						リハビリテーション提供体制の構築	急性期から回復期、生活期(維持期)において連携により適切な場所で適切なリハビリテーションの提供が行える体制を整える	地域連携部会 リハビリ部会	-	-	提供体制の課題洗い出し		提供体制の課題洗い出し 地域連携部会とリハビリ部会の共同開催	基本ルール作成と仮運用	運用	⇒	⇒
						病床利用のルール化	適切な場所(病床機能)で入院治療が行えるよう、参加法人内で病床利用のルール化	地域連携部会	ルール化検討	レスパイト入院フロー図作成、申込書統一	ルール化検討、関係書式の統一		ルール化検討、関係書式の統一	基本ルール作成と仮運用	運用	⇒	⇒
						空床状況の把握	適切かつ効率的な病床利用を進めるために、参加法人にて空床状況報告を行う(情報共有化)	地域連携部会	報告フォーム作成	報告フォーム作成、仮運用	運用	運用	運用	⇒	⇒	⇒	⇒
						災害時支援対象者リストの作成	災害時において、支援対象者把握のためのリスト作成	地域連携部会	参加法人内での作成	災害時レスパイトフロー図作成	市内関係機関との情報交換		市内関係機関との情報交換	情報共有とリストの作成	運用	⇒	⇒
						空床状況の把握	適切かつ効率的な病床利用を進めるために、参加法人にて空床状況報告を行う(情報共有化)	地域連携部会	報告フォーム作成	報告フォーム作成、仮運用	運用	運用	運用	⇒	⇒	⇒	⇒
						災害時支援対象者リストの作成	災害時において、支援対象者把握のためのリスト作成	地域連携部会	参加法人内での作成	災害時レスパイトフロー図作成	市内関係機関との情報交換		市内関係機関との情報交換	情報共有とリストの作成	運用	⇒	⇒
						新型コロナウイルス感染症対策	患者受入体制、検査体制、ワクチン接種体制	代表者会				早期に感染者への必要な診療や感染拡大防止のため病床数を確保する。 発熱患者等の相談、外来診療及び検査ができる体制整備に協力する。 速やかに市民への接種を行うことができるよう実施体制に協力する。 ワクチン接種に伴うアナフィラキシーショックDVDを購入し、各施設で研修会を実施。令和3年3月8日	早期に感染者への必要な診療や感染拡大防止のため病床数を確保する。 発熱患者等の相談、外来診療及び検査ができる体制整備に協力する。 速やかに市民への接種を行うことができるよう実施体制に協力する。	⇒	⇒	⇒	⇒